

国語科学習指導案

指導者 尾道市立向島中学校 本安 公範

- 1 日時 平成18年12月15日 5校時, 6校時
- 2 学級 第1学年4組(38名)
- 3 単元名 自分のものの見方や考え方を広げよう～説明的な文章を書き換える学習を通して～
教材「本当に必要なものは」【平成5年度版光村図書】
「『めぐる輪』の中で生きる」【平成14年度版光村図書】

4 単元について

(1) 単元観

中学校学習指導要領国語における第1学年の読むことの指導事項に「文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広くすること。」がある。この指導事項では、文章から書き手のものの見方や考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方と比べることで、新しい発見をしたり、判断を確かめたりすることが求められている。教材として挙げた、「本当に必要なものは」「『めぐる輪』の中で生きる」は、ゴミ問題とリサイクルの問題を扱った説明的な文章であり、中学校1年生が身近な環境問題を考え、自分のものの見方や考え方を広くしていく教材として適切であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、説明的な文章の学習についての意識では、8割の生徒が学習することの必要性を感じている。しかし、学習が得意であるという生徒は3割にとどまっている。また、生徒は説明的な文章の学習において、文章の内容や、文の構成などの筆者の述べ方をある程度理解することができる。しかし、受身的に理解するにとどまり、文章を読んで新しい発見をしたり、共感したり、批判したりして、自分のものの見方や考え方を広くすることが十分ではない。

(3) 指導観

説明的な文章の学習においては、これまで内容をたどるだけの授業になったり、要約や、段落構成を読み取るだけの授業になったりと、生徒が受身的に学習することが多かった。そこで、今回は、説明的な文章の学習において、他人が要約したものを元の文章を想定して書き換える学習を取り入れる。そして、元の文章と自分が書き換えた文章を対比し、共通点や相違点等を考えさせる。そうすることにより、自分のものの見方や考え方を広くする学習指導の工夫をしていきたい。

5 単元の目標

書き換えるための要約や、元の文章を想定しての再生を意欲的に行おうとする。

(国語への関心・意欲・態度)

文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約することができる。

(読むこと イ)

文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広くすることができる。(読むこと オ)

事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつことができる。(言語事項(1)ウ)

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<p>目的をふまえて意欲的に要約に取り組もうとしている。</p> <p>書き換える学習を意欲的に行おうとしている。</p>	<p>文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約している。</p> <p>文章の内容や筆者の述べ方から新しい発見をしたり、共感したり、批判したりして自分のものの見方や考え方を広くしている。</p>	<p>事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもっている。</p>

7 単元の指導計画（全6時間）

時	学 習 活 動	評 価				
		関	読	言	評 価 規 準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的な文章の特徴を確認する。 ・文章の要約の仕方を確認する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に要約に取り組もうとしている。（関） ・キーワードを使って要約している。（読） 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスを二つのグループに分け、それぞれ違う説明的な文章の要約を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> ・展開に即して内容をとらえ、要約している。（読） ・文章の中の語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもっている。（言） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発表
3	<ul style="list-style-type: none"> ・書き換える学習を理解する。 ・別の生徒が書き換えやすくするため要約を見直し、ヒント文をつける。 				<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に興味をもって、取り組もうとしている。（関） ・必要に応じて要約している。（読） 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート
4	<ul style="list-style-type: none"> ・別のグループの生徒が要約した文章を基に、元の文章を想定して、書き換える学習を行う。（本時 1時間目） 				<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に書き換える学習を行おうとしている。（関） ・語句について理解を深めるとともに、文章の中の語彙について関心をもっている。（言） 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・相互評価
5	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書き換えた文章と元の文章を対比する。（本時 2時間目） 				<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の書き方と自分の書き方を対比し、新しい発見をしたり、共感したり、批判したりして自分のものの見方や考え方を広くしている。（読） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発表
6	<ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒と書き換えた文章の交流をする。 				<ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒が書き換えた文章から学び、新しい発見をしたり、共感したり、批判したりしている。（読） 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・相互評価

8 本時の展開 12月15日(金) 5時間目, 6時間目

(1) 本時の目標

元の文章を想定して要約文を意欲的に書き換えようとする。

自分の書き換えた文章と元の文章を対比し, 文章の内容や筆者の述べ方から新しい発見をしたり, 共感したり, 批判したりしてものの見方を広くすることができる。

語句について理解を深めるとともに, 文章の中の語彙について関心をもつことができる。

(2) 観点別評価の規準

書き換える学習を意欲的に行おうとしている。(関)

自分の書き換えた文章と元の文章を対比し, 文章の内容や筆者の述べ方から新しい発見をしたり, 共感したり, 批判したりして自分のものの見方や考え方を広くしている。(読)

事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに, 話や文章の中の語彙について関心をもっている。(言)

学習活動	指導上の留意点 (「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準	評価方法
1 前時の復習	これまで要約してきたことや書き換える学習のことを確認させる。		
元の文章を想定して書き換えよう。			
2 書き換える学習を行う (5時間目)	別の生徒が行った要約から元の文章を想定して書き換える学習をさせる。 ヒントなどを基に書き換えさせる。 机間指導をして, 書くことが苦手な生徒に, 書き出しの例示を行う。	書き換える学習を意欲的に行おうとしている。(関) 語句について理解を深めるとともに, 文章の中の語彙について関心をもっている。(言)	行動観察 ワークシート 相互評価
書き換えた文章と元の文章を対比しよう。			
3 自分が書き換えた文章と元の文章の対比を行う。 (6時間目)	書き換えた文章と元の文章の違うところはどこか考えさせる。 机間指導をして, 意見を出しにくい生徒への個別の支援を行う。	書き換えた文章と元の文章を対比し, 新しい発見をしたり, 共感したり, 批判したりして自分のものの見方を広くし	ワークシート 発表

	班内で個別に発表したのち、班で集約した意見を班ごとに板書させる。	ている。 (読)	
--	----------------------------------	-------------	--